

# FIJ 活動レポート

2022年  
10月

いつもご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。  
2022年10月のFIJの活動内容や成果についてご報告します。

## ▶インターン学生のメンバー受入れ

FIJで8～9月にインターンとして参加していた大学生3名が[ファクトチェックアソシエイト](#)として登録され、引き続きFIJの活動に参加することになりました。

ファクトチェックアソシエイトは、疑義言説モニタリング(真偽不明な情報を見つけて[疑義言説データベースClaimMonitor](#)に登録し、ファクトチェックを実践しているメディアの記者に情報共有を図る作業)など何種類かの活動を行っています。

現在、約30名が登録され、10月時点で10名が疑義言説モニタリングに従事しています。

## ▶ファクトチェック・ナビの更新

10月は、10件の[ファクトチェック結果](#)、21件の[誤情報関連ニュース\(リンク集\)](#)を追加しました。

## ▶ファクトチェック通信(メールマガジン)の発行

10月5日にファクトチェック通信を「“news zero”がファクトチェック テレビでは異例の取組み開始」のタイトルで発行しました。10月からほぼ同じ内容の[WEB版](#)をFIJ公式サイトにも公開しています。

FIJ  
ファクトチェック通信  
WEB版

## ▶FIJ理事の活動

・楊井人文事務局長が「週刊金曜日」10月14日号(同日発売)に「ネット情報のファクトチェックセンターが発足」を寄稿しました。[オンライン版](#)にも全文が公開されています。

・楊井事務局長が「産経新聞」の取材に協力し、[デジタル有料記事「拡散するフェイクニュース 対策遅れで危うい日本の未来」\(10月26日\)](#)にコメントが掲載されました。

今後ともご注目・ご支援のほど、なにとぞ宜しくお願い申し上げます。

FIJ